



地震発生時のシミュレーション

大きな地震が発生したとき、慌てず冷静に対応することが命を守ることにつながります。事前に確認しておきましょう。

☎704-0065地域防災課

地震が起こったら

直後

落ち着いて、まずは自分の身を守りましょう

- 丈夫なテーブルや机の下などに身を隠しましょう
- 安全が確認できたら、火の元を確認しましょう



情報を入手しましょう

- 家族の安否を確認しましょう

災害用伝言ダイヤル「171」

災害によって電話が通じなくなったときのために、災害用伝言ダイヤル「171」を覚えておきましょう。



録音 171+1 **再生 171+2**

被災地の方の電話番号を市外局番から入力

- 災害情報や避難情報を入手しましょう

メール情報配信サービス

登録されたメールアドレスに、災害情報などを配信するサービスです。
entry@ichikawacity.jpに空メールを送信
右記2次元コードからも登録画面が開きます。



危険を感じたら、避難場所に避難しましょう

- 避難するときには、ブレーカーを切り、ガスの元栓は閉めましょう
- 非常持ち出し品を忘れずに

余震などに注意し、自宅の安全確認をしましょう

- 自宅の安全が確認できたら、自宅に戻りましょう
- 自宅が被災していたら、避難所に行きましょう



避難完了後

地域で避難所を運営

小学校区防災拠点協議会

過去の地震などの災害時には、学校を中心に情報収集や水・食糧などの供給が行われたことや、日頃から学校活動などを通して住民同士の顔が見える関係があり、助け合いが行われたことから、市では、公立小学校39校を「小学校区防災拠点」として、災害時に地域の情報収集や避難生活支援の活動拠点としています。

この「小学校区防災拠点」を地域から支える組織が「小学校区防災拠点協議会」です。

小学校区防災拠点協議会の活動

地域住民で構成され、日頃から市の災害対応体制についての理解を深めるとともに、災害時に使用する避難所のレイアウトの検討及び避難所開設訓練などを行っています。

活動インタビュー

曾谷小学校区防災拠点協議会会長
日光 三代治さん

1月20日に防災拠点訓練を行い、障がい者団体連絡協議会の方や子どもたちにも多く参加してもらいました。このような訓練を繰り返すことで、実際に避難するときにお互いスムーズに動けるようになると思います。

また、災害時は自治会の役員が中心となり、みなさんの安否確認を第一に行いますが、実際に動ける人数が年々減ってきている現状があります。役員以外の方の自主的な行動も重要になってきていますので、訓練に参加するなどして災害に備えてもらいたいです。



▲炊き出し訓練



▲避難所マットの設置

市川市防災アプリ

防災マップ・ガイド機能を搭載したアプリです。右記2次元コードからダウンロードできます。



iOS



Android

災害協定を結んでいます

市では災害時に備え、物資の供給や職員派遣などの協定を民間企業や自治体と締結しています。よりきめ細かな対応につなげるため、平成31年1月以降は下記の協定を締結しました。

- 「タクシー車両による緊急輸送など」
一般社団法人千葉県タクシー協会 京葉支部
- 「災害時などにおける自動車の貸し渡し」 株式会社カクタ
- 「福祉避難所などへの介護福祉士の派遣」 千葉県介護福祉士会

- 「食糧、生活物資などの救援物資の提供など災害時相互応援」
熊本県宇土市・熊本県相良村
- 「災害時における緊急物資輸送及び集配拠点の運営などの協力」
ヤマト運輸株式会社 船橋主管支店